

2005年 12月 21日

各 位

杏林製薬株式会社  
東京都千代田区神田駿河台2-5  
(証券コード 4560 東証一部)

## 韓国健一(Kuhnil)社とのケタス点眼液に関するライセンス契約締結について

杏林製薬株式会社(社長:荻原郁夫)は、韓国健一製薬株式会社(Kuhnil Pharm. Co., Ltd.)(社長 兼 CEO:金暎中(Young.Kim)、以下健一社)と、当社が創製したアレルギー性結膜炎治療剤「ケタス点眼液」(一般名;イブジラスト)に関する韓国における独占的な販売権を供与するライセンス契約をこの度、締結しました。

ケタス点眼液はIgEあるいはIgG関与のⅠ型アレルギー反応の抑制作用に加え、組織障害の原因となる好酸球・好中球の活性酸素産生を抑制する作用等により、アレルギー性結膜炎(花粉症を含む)による癢痒感、結膜充血などの自覚症状を改善いたします。日本国内においては当社と万有製薬(株)が共同開発し、2000年4月より万有製薬(株)【製品名:アイビナール点眼液】及び千寿製薬(株)【製品名:ケタス点眼液】を通じて発売しております。

健一社は、韓国市場において点眼剤の販売を重点領域のひとつとしており、ケタス点眼液の導入により商品ラインナップが一層進むものと判断しました。

一方、当社は韓国において既にイブジラストの経口剤であるケタスカプセル(2002年9月上市)を韓獨社より発売しており、今回の契約が韓国でのイブジラストビジネスの拡大に繋がるものと判断しました。

なお、当社はこれまで「ノルフロキサシン」、「ガチフロキサシン」などのフルオロキノロン剤、胃炎・胃潰瘍治療剤「トロキシピド」、代用血漿剤であるヘス製剤を韓国製薬企業へ導出し、更には今般、過活動膀胱治療剤「KRP-197」においてLGLS社とライセンス契約を締結しており、今後も韓国ビジネスがより一層拡大することを期待しております。

以 上

### この件に関するお問合せ先

杏林製薬株式会社 経営企画部
TEL: 03 - 3293 - 3414
FAX: 03 - 3293 - 3454

## 参考資料

### 健一製薬株式会社の概要

設立 : 1951年5月  
所在地 : 237 - 12 Gong deok-dong, Mapo-gu, Seoul, Korea  
社長兼CEO : 金暎中(Young.Kim)  
従業員 : 350名(2005年11月現在)  
注力領域 : 抗菌剤、点眼剤、抗癌剤  
特長 : 点眼剤を重点領域のひとつとしており、点眼剤のスペシャルチームを結成して取り組んでいる。

### 杏林製薬株式会社の概要

設立 : 1923年12月  
代表取者 : 代表取締役社長 荻原 郁夫  
所在地 : 東京都千代田区神田駿河台2 - 5  
従業員 : 1,619名(2005年3月31日現在)  
注力領域 : 呼吸器内科、耳鼻科、泌尿器科  
特長 : グローバルな創薬ビジネスをコアとし、信頼をベースとした特色ある複合ヘルスケア企業を目指す製薬企業。創薬ビジネスモデルの進化とその創薬ビジネスを支える新たな事業の構築に取り組んでいる。営業部門は呼吸器内科・耳鼻科・泌尿器科に資源を集中し、研究開発部門は感染症・免疫/アレルギー・代謝性疾患を重点領域とする。